最近のクレアの動きや所管国の状況などを 短ぐまとめで紹介します



ソウル事務所

ローカルビールで交流促進 群山(グンサン)市の魅力

クレアソウル事務所は 2024 年6月 21 日、全北特別自治道群山市で行われた「2024 群山クラフトビール&ブルースフェス ティバル」に参加しました。群山市は韓国を代表するクラフトビール都市ブランドの創出や、酒類産業を通じた地域農業・青年 創業(若者による起業)・都市再生の拡大・発展を目指しており、このフェスティバルもローカルビールの認知度向上や販路拡大 を目的に開催されました。

フェスティバルは「金群ビール」の乾杯で始まりました。「金群ビール」は慶尚北道金泉(キムチョン)市と群山市が共同開発 したクラフトビールです。両市長にあいさつした際、金群ビールが両市の最初の一文字をとって名付けられたことや日本のクラ フトビール生産にも興味を持っていることを伺いました。

フェスティバルのテーマソング「群山ブルース」が演奏されるとビールの飲み具合も相まってか会場の熱気はさらに上がりま した。群山市の職員から群山市民は明るく元気があり、愉快な人が多いと聞いていましたが、市長や市職員をはじめ、若い人か

らお年寄りまで、老若男女がステージ前に 集まりダンスを踊り、交流する姿が見られ、 まさに明るく元気な様子に驚きました。

22 日は市の観光文化解説士の案内によ り群山市内を視察しました。東シナ海に面 した古群山群島や映画 [8月のクリスマス] に登場する写真館、韓国の登録文化財「旧 広津家屋」を訪れ、歴史や映画撮影の裏話、 観光戦略について説明を受けました。

古くから残る自然や歴史を活用した観光 資源を大切にするだけでなく、新しい産業に も取り組み、市民や街全体が活気にあふれ ているところに群山市の魅力を感じました。



ビールフェスティバルの様子



クラフトビール (右が金群ビール)

北京事務所

「上海ジャパンブランド」が開催されました!

2024年6月21日から23日にかけて、上海メトロシティの屋外イベントスペースにて「上海ジャパンブランド」が開催さ れ、鳥取県や愛媛県など日本の自治体や企業がブース出展を行いました。会場には3日間で延べ21万2.800人が訪れました。

上海メトロシティは、上海中心部にある地上8階、地下2階の大型複合施設で、本館の屋上に設置されている直径41.2メー トルの巨大な球体にはさまざまな映像が映し出されており、地元エリアのランドマーク的存在となっています。内部には映画館 や美術館のほか、日系の飲食店や雑貨店、日本の漫画やアニメに関するグッズを販売する店もあり、日本文化の発信拠点になっ ています。

梅雨の時期のため、雨が降る時間帯もありましたが、屋外イベントスペースには多くの人 が訪れました。日本の自治体はパンフレットやノベルティグッズの配布による観光 PR や、

名産品である日本酒や焼酎の試飲・販売 などを行い、会場は大いににぎわってい ました。

クレア北京事務所職員も派遣元自治体の 観光 PR などをサポートしました。中国の 方に日本語で話しかけられる機会が多く あり、その人々は日本への留学や日本ア 二メを通して日本語を覚えたとのことでし た。イベントでのサポートを通じて、中国 には日本に関心がある人がたくさんいる ことを実感するとともに、改めて現地で直 接自治体の PR をすることの重要性を感じ ました。



にぎわう自治体ブース



上海メトロシティの外観



ニューヨーク事務所

全米市長会(USCM)年次総会へ参加しました

2024年6月20日から23日にかけて、全米市長会 (The United States Conference of Mayors = USCM) 年次総会がミ ズーリ州カンザスシティにおいて開催されました。USCM は、1932年に設立された人口3万人以上の都市を対象とした超党派 の組織で、現在全米 1.400 以上の都市が加盟しています。同組織の主な目的は、連邦・州政府への要望や連携強化、市長同士の 意見交換などを行うことです。

毎年6月に開催される年次総会では、さまざまな委員会における議案の承認や個別の政策テーマに関する各自治体の取り組み の成果の共有および意見交換が行われます。92回目の開催となる今回の年次総会では、公共交通、雇用問題や企業誘致といっ

た多くの議題について議論が交わされるととも に、今年実施される米国大統領選挙を踏まえ、国 民の関心事やアメリカ社会が直面する課題につい ても提起されました。

総会に参加したクレアニューヨーク事務所職員 も登壇の時間をいただき、クレアニューヨーク事 務所の役割と、日本と米国の地方自治体間におけ る地域外交の推進の重要性を強調しました。また、 派遣元自治体の姉妹都市の市長や、JET プログラ ム参加などの経験を持つ市長などと懇談し、今後 のさらなる連携強化を確認することができました。



International Affairs Standing Committee Saturday Plenary Lunch にて取 に登壇するニューヨーク事務所調査役(左か り組みを発表するRon Nirenberg ら2番目)



サンアントニオ市長



ロンドン事務所

イングランド北東部のシンクタンク開催の年次会議に参加

2024年6月24日、イングランド北東部に焦点を当てたシンクタンクである [Insights North East」の年次会議が開催されました。200名を超える政策立案者、学者、自治体職 員などが一堂に会し、北東部の重要な課題に関して議論を行いました。

イングランド北東部の複数の地方自治体の共同により 2024 年5月に設立された北東広 域連合の代表であるキム・マクギネス氏が開会の挨拶を行い、中央政府からの権限委譲の 機会を利用し、地域の誇りやアイデンティティーを取り戻す政策立案を行う必要性を強調 しました。続いて、外交専門家でありダラム大学学長であるフィオナ・ヒル博士による基調 講演が行われ、ドイツとアメリカでの自身の経験を交えながら、北東部が今後成長してい くためには幅広い主体の関与および包摂性の確保が重要であることについて指摘しました。 基調講演後は分科会が行われ、北東部の持続可能性、公共サービス改革、社会インフラ

の再構築といったテーマについて議論が行われました。 本会議では、北東地域が直面する社会的・経済的課題に対する具体的な解決策について 多くの洞察が得られました。特に、地域の持続可能な発展を目指すための政策や、地域の 声を政策に反映させることの必要性についての議論が印象的でした。地域の未来に向けた ビジョンが共有され、具体的なアクションプランが議論された非常に有意義な会議でした。



基調講演の様子



分科会の様子



シンガポール事務所

新規 JET プログラム参加予定者のオリエンテーションおよび歓送会が開催されました!

2024年7月18日、在シンガポール日本大使館のジャパン・クリエイティブ・センター (JCC) において、シンガポールか ら日本への渡航を控えた新規 JET プログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) 参加予定者のオリエンテーションおよび 歓送会が開催されました。

オリエンテーションでは、新規参加予定者が大使館や旅行会社から渡航にあたっての注意事項などについて説明を受けました。 歓送会では、はじめに、石川浩司駐シンガポール大使、クレアシンガポール事務所長、JETAA (元 JET 参加者の会) シンガポー ル代表から新規参加予定者に向けた挨拶や激励のメッセージがありました。続いて、新規参加予定者一人ひとりが挨拶し、新た

に JET プログラムへ参加することへの決意を表明しま した。さらに、JETAA から自身の JET プログラム経験 に基づいたさまざまなアドバイスがあり、新規参加予定 者は熱心に耳を傾けていました。

その後、赴任先の自治体職員を含む関係者との交流会 が行われました。新規参加予定者にとって、JET プログ ラムでの勤務や日本での生活のイメージを掴むよい機会 になった様子で、会場内では新規参加予定者と JTEAA をはじめ、参加者同士の活発な交流が見られました。



新規参加予定者による自己紹介の様子 JETAA による発表の様子



パリ事務所

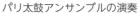
オー=ド=フランス州最大級の見本市にブース出展しました

2024年5月31日から6月9日にかけて、フランスの北部・オー=ド=フランス州に位置するアミアンで見本市「フォイレ・エ クスポジシオン・ドゥ・ピカルディー (Foire Exposition de Picardie)」が開催されました。アミアンがパリオリンピック・パ ラリンピック競技大会日本代表選手の事前合宿地となることを記念して、今回は日本をテーマにした展示エリアの設置や和太鼓 の演奏などの催しが行われることになり、クレアパリ事務所は本イベントに初めてブースを出展しました。日本の伝統工芸品など の展示、自治体のパンフレット配布や日本酒の試飲を行い、日本のさまざまな地域の観光や文化に関するプロモーションを実施し

ました。来場者からは、「この展示品や日本酒 はどこで買えるのか」「東京と京都のほかにオ ススメの地域はあるか| などの質問があり、日 本の各地域への関心の高さがうかがえました。

今回で83回目を数える伝統ある見本市に出 展することで、アミアンを含めた北フランスの 皆さんに日本の魅力を PR する貴重な機会とな りました。クレアパリ事務所では、今後も関係 機関との連携を図りながら、日本の自治体や地 域の魅力を発信してまいります。







クレアブースの様子



シドニー事務所

「全豪地方自治体協会 2024 年次会合」で地方行政の課題把握とネットワーク強化

2024年7月2日から5日まで、「全豪地方自治体協会年次会合」がオーストラリアの首都キャンベラで開催されました。 豪州の地方自治体の首長や議員など、1,000人以上が一堂に会し、地方行政に係る諸課題に関する講演や意見交換が行われま した。

開催 30 周年を迎える今年の会合では、"Building Community Trust"をテーマに、自然災害や技能人材不足、生活費の圧迫 などの諸課題が挙げられ、連邦政府と連携しコミュニティー支援を充実させることの重要性が唱えられました。

関係機関によるブース出展も行われ、クレ アシドニー事務所ブースでは、組織概要や今 後予定している海外自治体幹部交流協力セミ ナーの周知、日本と豪州間の姉妹都市に関す る情報提供などを行いました。また、現地の 地方自治体関係者との意見交換を通じ、地方 行政の動向の把握や、ネットワーク強化を図 りました。

クレアシドニー事務所では、今後も同様の機 会を通じて情報収集や意見交換をすすめ、豪州 と日本における地方行政の動向について相互理 解を深められるよう努めてまいります。



ナーの PR をするクレアシドニー事務所 様子



来訪者に海外自治体幹部交流協力セミ 年次会合における豪州総督のスピーチの



交流親善課

第19回(2025年) 自治体国際交流表彰(総務大臣賞)候補団体を募集しています

クレアでは、総務省との共催で、日本の自治体と海外の自治体の交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取り組みを行っている 団体を表彰します。公募は自治体だけでなく、自治体からの推薦があれば、民間非営利団体からもご応募いただけます。経済、 教育、文化・スポーツなど幅広い分野の交流を対象としています。皆様からのご応募をお待ちしております。

表彰対象団体:都道府県、市区町村または地域国際化協会もしくは国際交流協会な どの民間非営利団体

表彰対象となる取り組み:交流分野を限定しない姉妹自治体提携に基づく交流活動 のほか、海外の自治体と特定分野(教育、経済、観光、防災など)の協定、覚書な どに基づく交流(協定などによらないが、日本の自治体が公認し、

継続性があるものなどこれに準ずる交流を含む)、および多文化共 生の取り組みにより海外の自治体との交流活動に発展したもの

応募期限: 2024年11月29日(金)

詳しくは

https://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html をご覧ください。





第18回自治体国際交流表彰受賞式の様子



経済交流課

自治体国際協力促進事業 (モデル事業) の募集を開始しています!

クレアでは、地方自治体などが行う国際協力事業の中から先駆的な役割を果たす事業を「モデル事業」として認定し、積極的 に支援するとともに、広く紹介することにより、自治体が行う国際協力活動の一層の推進を図っています。2025年度事業の募 集は8月より開始しています。クレアのホームページに今年度の事業一覧や2023年度までの事業報告書を掲載していますので、 ぜひご覧ください。ここでは2023年度事業の一部をご紹介します。

- ①大阪府大阪市 【上水道】「インドネシア共和国・ジャンビ市水道事業運営能力向上支援事業(人材育成)」
- ②鳥取県米子市 【IT】「プログラミング言語 Ruby を通したインド・ケララ州の IT 人材育成プロジェクト」
- ③島根県邑南町 【福祉】「ミャンマーの障がい者福祉リーダー人材育成事業」
- ④福岡県北九州市 【環境】「タイ王国ウボンラチャタニ県における廃プラスチックを含む都市ごみの適正管理推進事業| このように、さまざまな分野での国際協力事業が採択されています。これらの事業はホームページ上の事業報告書にて詳細を 確認できます。

ご相談は随時受け付けております。お気軽にご相談ください!

【お問い合わせ】 経済交流課 Tel: 03-5213-1726 Mail: kokukyou@clair.or.jp ホームページ: https://www.clair.or.jp/j/cooperation/model/index.html



多文化共生課

地域国際化推進アドバイザー派遣制度 ~多文化共生施策の推進のためクレアが有識者を派遣します~

クレアでは、多文化共生分野などで専門的な知識や経験を有する有識者を「地域国際化推進アドバイザー」として登録し、地 方公共団体や国際交流協会からの申請に基づき派遣しています。2023年度は延べ119件(現地109件・オンライン10件) の派遣を行いました。

研修や講演会での講師としてはもちろん、多文化共生にかかる事業の実施運営のための関係者会議などにおいて助言を受ける ためにも制度をご活用いただけます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

◆派遣対象団体

- ・地方公共団体 ・地域国際化協会 ・市区町村の国際交流協会 など
- ◆派遣対象事業(例)
 - ・災害多言語支援センター設置運営訓練における指導
 - ・やさしい日本語に関する講演会の開催
 - ・日本語学習支援ボランティアのスキルアップ研修の実施
 - 多文化共生指針策定のための庁内検討委員会での助言
 - ・外国人相談窓口の運営にかかる会議での助言や事例紹介 など
- ◆クレアが負担する費用
 - ・アドバイザーの往復交通費および日当
 - アドバイザーの謝礼金(1回の派遣につき4時間分まで)

アドバイザーや派遣実績の詳細などについては、

ホームページをご覧ください。





アドバイザー派遣活用の流れ



JET プログラム事業部

約 1.850 人の新規 JET プログラム参加者を迎え 2024年度7・8月期来日直後オリエンテーションを開催しました!

毎年クレアでは、新規 JET プログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)参加者を対象に、来日直後オリエンテーション を開催しています。2024年夏は、7月29日・30日と8月5日・6日の2回にわたり開催し、新規招致国2カ国を含む、世界 38 カ国から約 1,850 人が参加する大規模なものとなりました。

オリエンテーションでは、日本の法律や災害への備えなど日常生活に不可欠な知識や情報について取り扱うとともに、外国語

指導助手 (ALT)、国際交流員 (CIR)、スポーツ国際交流員 (SEA) それぞれの職種に合わせた実践的な講座を設けました。いずれの研修 においても、参加者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。また、 ワークショップやディスカッション、交流会を通して、参加者同士で 積極的に意見交換を行うなど、交流を深める機会になりました。

研修を終えた参加者は、各々の業務に従事するため、早速全国各地 の任用団体の元へ旅立っていきました。

参加者の皆さんが1日でも早く日本での生活に慣れ、地域の国際化 や外国語教育の充実のために活躍されることを願っています!



開会式の様子